



厚生労働大臣指定法人・一般社団法人

いのち支える自殺対策推進センター

Japan Suicide Countermeasures Promotion Center (JSCP)

JSCPより、先生方の研修 に関するお知らせ

学校・教育機関向け資料集

[#学校](#)[#教育機関](#)[#子ども・若者への対策](#)[#自殺予防教育](#)[#SOSの出し方に関する教育](#)[#文部科学省資料](#)

このページは、学校や教育委員会に向けて自殺対応に関わる資料や動画コンテンツを集めています。随時、新規情報を取り入れ更新していく予定です。

文部科学省により「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」（平成21年3月）が発行されてから10年以上経過し、こどもたちの自殺に関わる状況はどうかというと、減少するどころか、令和4年には小中高校生の自殺者数が514名にも達する状況となり、令和5年にも513名と高止まりしています。

令和5年には、こども家庭庁が「こどもの自殺対策緊急強化プラン」を取りまとめ、文部科学省も、1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入および「SOSの出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育を一層推進し、厚生労働省が「こども・若者の自殺危機対応チーム事業」を開始しました。こども・若者の自殺対策について、学校と連携した取組を、一層強化しているところです。

ぜひ、各自治体、学校でこのサイトをご活用いただき、自殺対策に関する情報を収集いただきますとともに、このようにマニュアルを改善してみたなどのお声をお寄せいただき、さらに共有しあうことで、全国の児童生徒の自殺対策の一助となれば幸いです。

学校における自殺関連
対応マニュアル集

『SOSの出し方に関する教育』
を含む自殺予防教育 関連資料

研修用動画
その他

『子供の自殺が起きたときの
背景調査』 関係資料

保護者向け
自殺予防教育に関するコンテンツ集

中高教職員のためのゲートキーパー研修 動画型教材公開のお知らせ

#研修・会議

#ゲートキーパー



JSCPは、中高教職員を対象としたゲートキーパー養成に係る研修プログラムを開発し、独立行政法人教職員支援機構（NITS）の協力のもと、オンデマンド動画配信を実現しました。

令和5年の小中高生の自殺者数は513名と、令和4年（514名）に次ぐ深刻な状況が続いています。学校教職員においては、こどもたちの身近な存在として、こどものSOSのサインに気づき、寄り添い、適切に支援につなぐ「ゲートキーパー」としての役割がますます期待されます。

こうした背景を受け、これまでJSCPでは、中高教職員向けのゲートキーパー養成に係る研修プログラムを開発し、オンラインまたは対面で自治体等へ研修をご提供してまいりました。一方、講師の数や時間的な制約などから、必ずしもすべての要望に応えることはできませんでした。またやむを得ない理由で当日欠席をした方が後日に研修を受けられないなど、リアルタイム形式による研修開催の限界もありました。

今回、NITSの協力のもと、JSCPの研修プログラムを、誰もが場所や時間の制約なく、自由に学ぶことができる動画教材とすることができました。ぜひ皆様にご活用のうえ、ご意見をいただき、さらに良いものへとしていく所存です。

研修プログラム

本研修は、希死念慮のある児童生徒からのSOSのサインに気づき、寄り添い、適切な支援に繋ぐためのコツを、ケース・スタディを通して分かりやすく学ぶことができます。なお、研修プログラムは、自殺対策の専門家、小児科専門医、教育の専門家等の知識や経験をもとに開発しました。

研修プログラム

本研修は、希死念慮のある児童生徒からのSOSのサインに気づき、寄り添い、適切な支援に繋ぐためのコツを、ケース・スタディを通して分かりやすく学ぶことができます。なお、研修プログラムは、自殺対策の専門家、小児科専門医、教育の専門家等の知識や経験をもとに開発しました。

ケース1：自殺のほめかし

- Aくん（高1）
- 作文で「自殺したい」



- 成績は普通→やや低、最近学校を休みがち
- 登校しても一人でぼーっとして過ごしている
- 仲の良い友達はいない様子
- 明らかなじめはなさそう
- 容姿に無頓着で、最近特にその傾向が目立つ

N|+ ■ 独立行政法人教育支援機構

希死念慮のある児童生徒への適切なかかわり方（前編）

【動画時間】約35分

【内容】

1. 日本の子ども・若者の自殺の現状
2. ゲートキーパーとは
3. ケース・スタディ（1ケース）
 - ① 自殺のほめかし

繊細な話題に入るコツ

- ✓ 気になる言動（=SOS）を見付け、客観的に、かつ具体的に話す
- ✓ 「私（=先生であるあなた）が」心配している、ということを伝える

N|+ ■ 独立行政法人教育支援機構

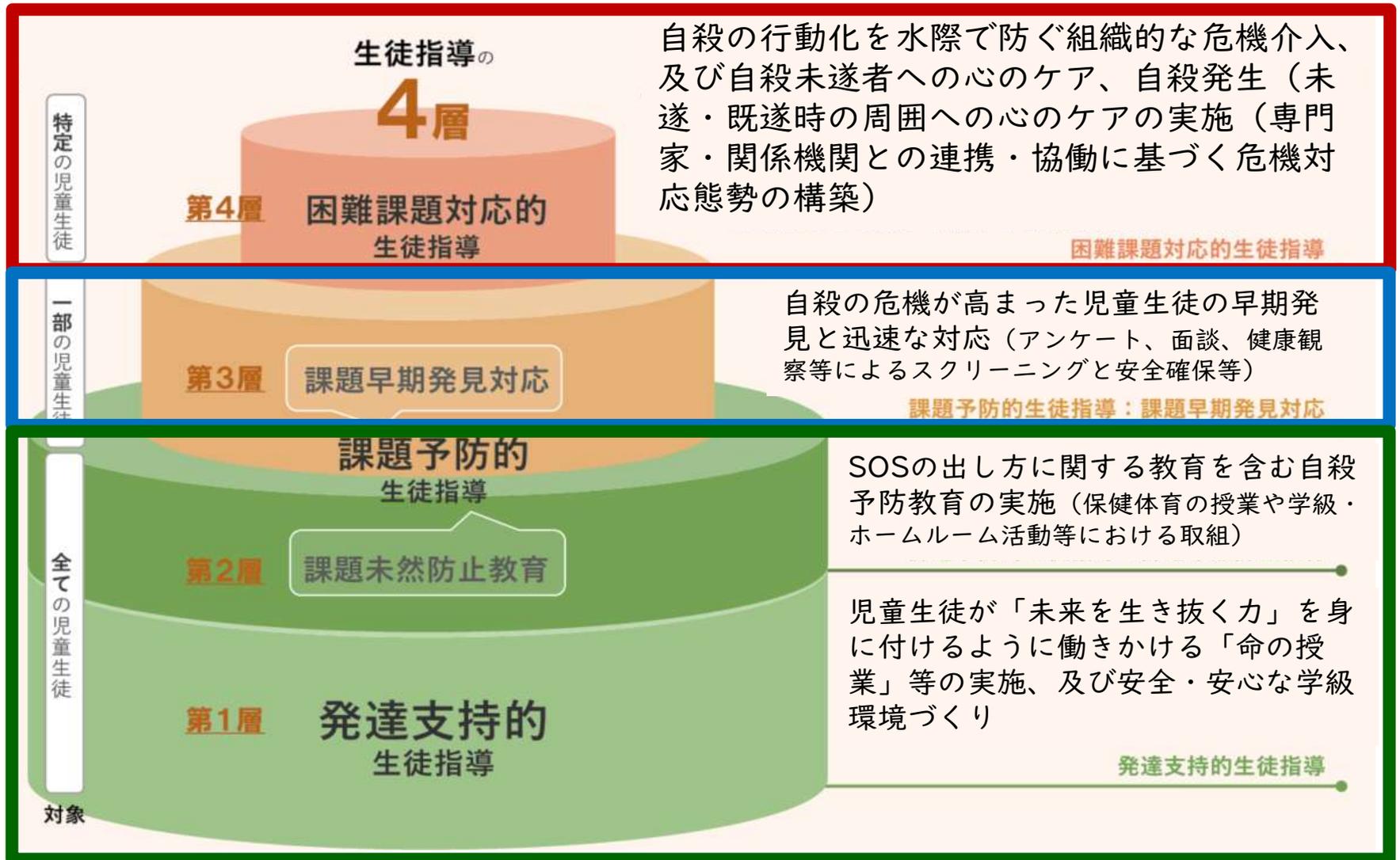
希死念慮のある児童生徒への適切なかかわり方（後編）

【動画時間】約40分

【内容】

1. ケース・スタディ（3ケース）
 - ① 友人からの相談
 - ② 自傷行為
 - ③ アンケートの罫

8.3 自殺予防に関する生徒指導の重層的支援構造



図：東京都教育委員会発行「生徒指導提要（令和4年12月）」のポイント（基礎編）



さいごに . . .



生徒ひとりひとりのサインに気づき、
寄りそい、支援につなぐために、

先生ご自身のところからだ

のケアも、どうか忘れないでください





いのち
支える